

**谷山地域における A I オンデマンド交通実証実験（有料）
令和 6 年度「チョイソコかごしま」実験結果分析等
（利用実績、アンケート調査クロス集計）**

令和7年3月

トヨタカローラ鹿児島株式会社

1. 利用実績

(1) 会員登録者の利用実績

①年代別利用者数・割合比較

年齢	令和6年度（運行日：78日）			令和5年度（運行日：60日）			1日当たり回数の増減(R6-R5)
	回数	割合	1日当たり回数	回数	割合	1日当たり回数	
～19歳	113回	35%	1.4回	73回	18%	1.2回	0.2回
20歳代	7回	2%	0.1回	12回	3%	0.2回	-0.1回
30歳代	9回	3%	0.1回	17回	4%	0.3回	-0.2回
40歳代	24回	7%	0.3回	10回	2%	0.2回	0.1回
50歳代	11回	3%	0.1回	3回	1%	0.1回	0.1回
60歳代	4回	1%	0.1回	81回	19%	1.4回	-1.3回
70歳代	61回	19%	0.8回	160回	38%	2.7回	-1.9回
80歳以上	96回	30%	1.2回	61回	15%	1.0回	0.2回
計	325回	100%	4.2回	417回	100%	7.0回	-2.8回

※年齢は実施年度時点

※端数処理の関係で合計と内訳が一致しない部分あり

- ・1日あたりの利用者数は、多くの年齢層で横ばいに推移しているが、5年度利用者の約6割を占めていた60歳代及び70歳代の利用が2割に減少した。

②5年度利用者の6年度利用実績（年代別）

年齢	R5利用者						
	R5実績		R5利用かつR6利用			R6利用なし	
	人数	回数	人数	R5回数	R6回数	人数	回数
～19歳	6人	73回	5人	72回	56回	1人	1回
20歳代	4人	12回	—	—	—	4人	12回
30歳代	4人	17回	1人	10回	1回	3人	7回
40歳代	3人	10回	2人	8回	16回	1人	2回
50歳代	2人	3回	—	—	—	2人	3回
60歳代	10人	81回	1人	11回	2回	9人	70回
70歳代	9人	160回	4人	107回	46回	5人	53回
80歳以上	13人	61回	8人	40回	47回	5人	21回
計	51人	417回	21人	248回	168回	30人	169回

R6利用のうちまちなか停留所間利用

4回

※年齢はR5年度時点

- ・5年度利用者51人のうち6年度も利用したのは21人
- ・年齢別の利用回数は、40歳代及び80歳代以上のみ増加しており、それ以外の年齢は減少している。
- ・5年度利用者における6年度利用において、まちなか停留所間の利用は168回中4回（2.4%）で、利用区間の拡充による5年度利用者への影響は少なかった。

1. 利用実績

(1) 会員登録者の利用実績

③ アンケート調査結果の分析（60歳代及び70歳代以上の利用回数等）

チョイソコかごしま利用回数（R6）

	0回	1～4回	5回以上
60歳代	9	4	0
70歳代以上	30	11	12

利用しなかった、利用が少なかった理由

	回答総数	60歳代	70歳代以上	回答総数に占める 60歳代+70歳代以上の割合
利用方法がわからない	4	1	3	100.0%
予約が面倒	15	2	7	60.0%
行きたいところへ行けない	14	2	4	42.9%
運賃が有料になったため	5	0	1	20.0%
運賃が高い	13	1	8	69.2%
他の乗客との相乗りの抵抗がある	4	2	1	75.0%
その他	47	7	19	55.3%

「その他」の回答内訳（60歳代、70歳代以上）

- ・ 60歳代：自分で運転できる（2人）、利用機会がなかった（3人）、停留所が近くでない（1人）、日曜日がないのが不便（1人）
- ・ 70歳代以上：自分で運転できる（12人）、停留所が近くでない（2人）、利用機会がなかった（1人）など

- ・ 60歳代及び70歳代以上においては、「その他」（計26人）に次いで、「予約が面倒」（計9人）、「運賃が高い」（計9人）の回答が多い。
- ・ 利用状況やアンケート結果から、運賃を有料にしたことによって、自家用車での移動や、70歳代以上においては、敬老パス（バス・市電・桜島フェリー等を3分の1の料金で利用可）を利用できるあいばすや路線バスにシフトしたことが推察される。

1. 利用実績

(2) 利用区間

年齢	利用者数	うち6年度 新規登録者	総利用 回数	利用区間			(うち新年度登録・利用者利用区間)		
				不便地⇄まちなか	不便地⇄不便地	まちなか⇄まちなか	不便地⇄まちなか	不便地⇄不便地	まちなか⇄まちなか
～19歳	10人	4人	113回	113	0	0	54	0	0
20歳代	2人	0人	7回	7	0	0	0	0	0
30歳代	5人	3人	9回	2	0	7	1	0	6
40歳代	8人	3人	24回	21	0	3	2	0	1
50歳代	3人	2人	11回	11	0	0	9	0	0
60歳代	3人	1人	4回	3	0	1	0	0	1
70歳代	6人	1人	61回	37	20	4	0	0	4
80歳以上	16人	2人	96回	85	0	11	0	0	9
計	53人	16人	325回	279	20	26	66	0	21

(3) 決済手段

決済方法	金額	金額割合
現金決済	52,700	77.2%
キャッシュレス決済	15,600	22.8%
合計	68,300	100%

- ・会員登録者の利用区間としては、総利用回数325回のうち、「不便地⇄まちなか」間が279回（86%）、「不便地⇄不便地」間が20回（6%）、「まちなか⇄まちなか」間が26回（8%）であった。
- ・6年度利用者53人のうち、16人が6年度新規会員登録者（15人は昨年度登録済み）。
- ・まちなか停留所間の利用26回のうち、6年度新規登録者の利用回数は21回（81%）であり、利用区間の拡充が会員登録増の一因になっている。
- ・決済手段は、現金決済の金額が全体の約8割であり、現金ニーズの高さがわかる。
- ・谷山地域あいばすの5年度の決済手段は、現金が35%、I Cカード（ラピカ、敬老パス、友愛パス）が65%であり、I Cカードの方が高くなっている。

2. 令和6年度アンケート調査結果のクロス集計

(1) 各年齢の回答

① アンケート調査結果の分析（利用回数、利用目的） ※利用目的は複数回答可

年齢	利用回数			利用目的							
	0回	1～4回	5回以上	買い物	通院	通勤・通学	趣味	役所・郵便局・銀行	地域の集まり	乗り継ぎのための 駅やバス停への移動	その他
～19歳	1人	1人	3人	1人	—	4人	—	—	—	—	1人
20歳代	5人	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
30歳代	5人	2人	2人	1人	—	1人	1人	—	—	3人	1人
40歳代	6人	4人	1人	1人	—	1人	1人	—	—	2人	2人
50歳代	9人	3人	2人	1人	2人	1人	—	—	—	1人	1人
60歳代	9人	4人	—	1人	2人	—	1人	2人	—	1人	—
70歳代以上	30人	11人	12人	17人	15人	1人	4人	8人	—	6人	1人
計	65人	25人	20人	22人	19人	8人	7人	10人	—	13人	6人

※無回答 2人

- ・ アンケート回答者112人のうち、チョイソコかごしまを利用したことがある人は45人で、そのうち70歳代以上が23人と5割以上を占めている。20歳代の回答者の利用はなく、その他の年齢における利用者は4、5人程である。
- ・ 利用目的は、「買い物」が最も多く22人、次いで「通院」が19人、「乗り継ぎのための駅やバス停への移動」が13人となっている。

2. 令和6年度アンケート調査結果のクロス集計

(1) 各年齢の回答

②アンケート調査結果の分析（希望する決済手段）

※複数回答可

回答者総数

年齢	回答総数	現金決済	キャッシュレス決済			
			交通系ICカード (ラピカを除く)	クレジットカード	バーコード決済 (PayPay等)	その他
～19歳	5	4	5		3	
20歳代	5	3	4	3	3	
30歳代	9	5	6	5	4	1
40歳代	11	7	5	5	4	
50歳代	14	10	7	4	9	3
60歳代	13	10	3	2	5	1
70歳代以上	53	40	13	2	3	3
計	110	79	43	21	31	8
回答割合		71.8%	39.1%	19.1%	28.2%	7.3%

チョイソコかごしまを利用したことがある方

年齢	回答総数	現金決済	キャッシュレス決済			
			交通系ICカード (ラピカを除く)	クレジットカード	バーコード決済 (PayPay等)	その他
～19歳	4	3	4		3	
20歳代						
30歳代	4	3	3		1	
40歳代	5	3	3	2	1	
50歳代	5	4	3	1	1	1
60歳代	4	3	1		1	1
70歳代以上	23	19	9		1	1
計	41	32	19	3	5	3
回答割合		78.0%	46.3%	7.3%	12.2%	7.3%

- ・回答者総数とチョイソコかごしまの利用者の回答のいずれも、「現金」を希望する方が7割以上であり、次いで「交通系ICカード（ラピカを除く）」が約4～5割であった。
- ・キャッシュレス決済の中でも「交通系ICカード」の割合が高く、全ての年代からの希望があった。クレジットカードやバーコード決済（Paypay等）は希望者が少ない傾向である。
なお、キャッシュレス決済の希望としては、全年代バランスよく回答があった。

2. 令和6年度アンケート調査結果のクロス集計

(2) 居住地ごとの回答（谷山地域のうち公共交通不便地の方及び交通不便地以外の方）

① Q 1 性別

谷山 公共交通不便地		回答合計	全体割合	～10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代以上	
	男性	20	32.3%	3	75.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	16.7%	2	28.6%	13	33.3%
	女性	42	67.7%	1	25.0%	0	0.0%	2	100.0%	3	100.0%	5	83.3%	5	71.4%	26	66.7%
	その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	合計	62		4	100.0%	1	100.0%	2	100.0%	3	100.0%	6	100.0%	7	100.0%	39	100.0%

公共交通不便地の方が、回答数（62人）が多く、回答年齢層も高い。その他地域は公共交通不便地より30代・40代の回答が多い。
どちらの地域も回答者の約7割が女性である。

谷山 その他地域		回答合計	全体割合	～10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代以上	
	男性	11	28.9%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.0%	2	0.0%	2	0.0%	0	0.0%	5	0.0%
	女性	27	71.1%	1	100.0%	2	100.0%	3	100.0%	5	100.0%	3	100.0%	3	100.0%	10	100.0%
	その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	合計	38		1	100.0%	2	100.0%	5	100.0%	7	100.0%	5	100.0%	3	100.0%	15	100.0%

2. 令和6年度アンケート調査結果のクロス集計

② Q14「あいばす」と「チョイソコ」比較

谷山 公共交通不便地

	回答合計	全体割合	～10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代以上	
「あいばす」	12	21.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	16.7%	11	32.4%
どちらかといえば「あいばす」	7	12.5%	0	0.0%	0	0.0%	1	50.0%	0	0.0%	2	33.3%	1	16.7%	3	8.8%
どちらでもない	7	12.5%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	50.0%	0	0.0%	3	8.8%
どちらかといえば「チョイソコかごしま」	15	26.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	66.7%	0	0.0%	3	50.0%	10	29.4%
「チョイソコかごしま」	15	26.8%	4	100.0%	0	0.0%	1	50.0%	1	33.3%	1	16.7%	1	16.7%	7	20.6%
合計	56		4	100.0%	1	100.0%	2	100.0%	3	100.0%	6	100.0%	6	100.0%	34	100.0%

「利用しやすさ」について、どちらの地域も「チョイソコかごしま」の回答が過半数を占めている。
「あいばす」の回答割合は公共交通不便地（33.9%）の方がその他地域（18.5%）より高くなっている。
公共交通不便地において、70代以上の4割以上が「あいばす」と回答している。

谷山 その他地域

	回答合計	全体割合	～10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代以上	
「あいばす」	2	5.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	6.7%
どちらかといえば「あいばす」	5	13.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	14.3%	0	0.0%	1	33.3%	3	20.0%
どちらでもない	11	28.9%	0	0.0%	1	50.0%	2	40.0%	1	14.3%	2	40.0%	2	66.7%	3	20.0%
どちらかといえば「チョイソコかごしま」	13	34.2%	1	100.0%	1	50.0%	1	20.0%	2	28.6%	3	60.0%	0	0.0%	5	33.3%
「チョイソコかごしま」	7	18.4%	0	0.0%	0	0.0%	1	20.0%	3	42.9%	0	0.0%	0	0.0%	3	20.0%
合計	38		1	100.0%	2	100.0%	5	100.0%	7	100.0%	5	100.0%	3	100.0%	15	100.0%

2. 令和6年度アンケート調査結果のクロス集計

③ Q15 「あいばす」理由

谷山 公共交通不便地

	回答合計	全体割合	～10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代以上	
定時（時刻表通り）で移動できる	19	59.4%	0	0.0%	0	0.0%	1	50.0%	0	0.0%	2	50.0%	2	66.7%	14	63.6%
予約が不要	9	28.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	50.0%	0	0.0%	1	25.0%	1	33.3%	6	27.3%
車内が広い	1	3.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.5%
その他	3	9.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	1	25.0%	0	0.0%	1	4.5%
合計	32		0	0.0%	0	0.0%	2	100.0%	1	100.0%	4	100.0%	3	100.0%	22	100.0%

どちらの地域も「定時で移動できる」の回答が5割以上を占めており、公共交通不便地においては、70代以上の6割が回答している。

「定時で移動できる」に次いで「予約が不要」の回答が多い。

谷山 その他地域

	回答合計	全体割合	～10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代以上	
定時（時刻表通り）で移動できる	4	50.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	50.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	2	50.0%
予約が不要	2	25.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	50.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
車内が広い	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	2	25.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	50.0%
合計	8		0	0.0%	0	0.0%	2	100.0%	1	100.0%	0	0.0%	1	100.0%	4	100.0%

2. 令和6年度アンケート調査結果のクロス集計

④ Q18 運賃支払い時に希望する決済手段

谷山 公共交通不便地

	回答合計	全体割合	～10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代以上	
現金	50	54.9%	3	30.0%	0	0.0%	2	40.0%	3	42.9%	6	46.2%	5	41.7%	31	72.1%
クレジットカード	2	2.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	14.3%	0	0.0%	1	8.3%	0	0.0%
交通系ＩＣカード（ラピカを除く）	21	23.1%	4	40.0%	1	100.0%	2	40.0%	2	28.6%	3	23.1%	2	16.7%	7	16.3%
バーコード決済（PayPay等）	15	16.5%	3	30.0%	0	0.0%	1	20.0%	1	14.3%	3	23.1%	4	33.3%	3	7.0%
その他	3	3.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	7.7%	0	0.0%	2	4.7%
合計	91		10	100.0%	1	100.0%	5	100.0%	7	100.0%	13	100.0%	12	100.0%	43	100.0%

どちらの地域も全年代で「現金」の回答が多い。キャッシュレス決済の中では「交通系IC」の回答が多く、公共交通不便地においては、その他地域に比べ、「クレジットカード」の希望が少ない傾向であり、その他地域においては、20代以上のすべての年代で「クレジットカード」の回答があった。

谷山 その他地域

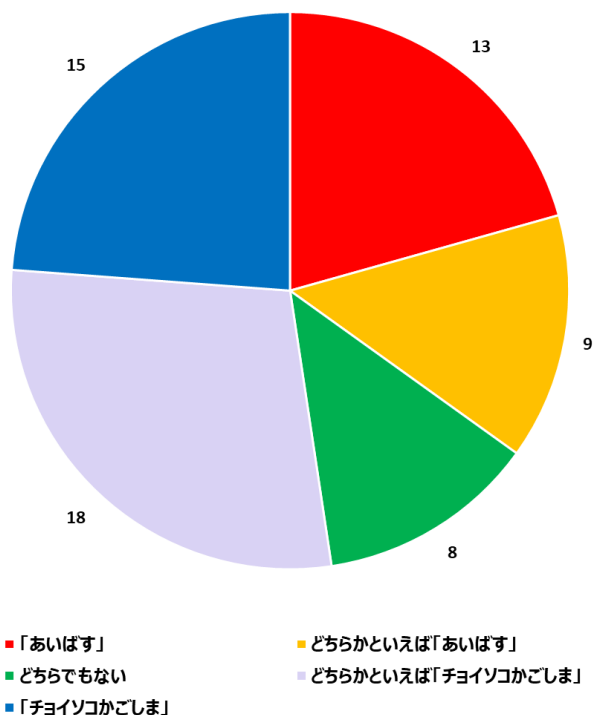
	回答合計	全体割合	～10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代以上	
現金	24	36.4%	1	50.0%	2	25.0%	2	22.2%	4	30.8%	2	18.2%	3	60.0%	10	55.6%
クレジットカード	14	21.2%	0	0.0%	2	25.0%	3	33.3%	4	30.8%	2	18.2%	1	20.0%	2	11.1%
交通系ＩＣカード（ラピカを除く）	16	24.2%	1	50.0%	2	25.0%	2	22.2%	2	15.4%	2	18.2%	1	20.0%	6	33.3%
バーコード決済（PayPay等）	9	13.6%	0	0.0%	2	25.0%	1	11.1%	3	23.1%	3	27.3%	0	0.0%	0	0.0%
その他	3	4.5%	0	0.0%	0	0.0%	1	11.1%	0	0.0%	2	18.2%	0	0.0%	0	0.0%
合計	66		2	100.0%	8	100.0%	9	100.0%	13	100.0%	11	100.0%	5	100.0%	18	100.0%

2. 令和6年度アンケート調査結果のクロス集計

(3) あいばす利用者の回答

① アンケート調査結果の分析（「あいばす」と「チョイソコ」どちらが利用しやすいか）

Q14.「あいばす」と「チョイソコかごしま」のどちらが
利用しやすいか教えてください



	令和6年度		(参考) 全体	
	回答数	割合	回答数	割合
「あいばす」	13	20.6%	16	15.1%
どちらかといえば「あいばす」	9	14.3%	13	12.3%
どちらでもない	8	12.7%	21	19.8%
どちらかといえば「チョイソコかごしま」	18	28.6%	30	28.3%
「チョイソコかごしま」	15	23.8%	26	24.5%
合計	63		106	
※無回答	3		6	

【選んだ理由】

	令和6年度		(参考) 令和5年度	
	回答数	割合	回答数	割合
定時（時刻表通り）で移動できる	21	55.3%	6	37.5%
予約が不要	11	28.9%	6	37.5%
車内が広い	2	5.3%	3	18.8%
その他	4	10.5%	1	6.3%
合計	38		16	

- ・ あいばす利用者は「あいばす」「どちらかといえばあいばす」は35%。全体より多い。（参考：全体回答は27%。）
- ・ ただ、「チョイソコかごしま」「どちらかといえばチョイソコかごしま」の比率はあいばす利用者も割合は変わらずどちらも利用しやすいという回答が50%を超えている。
- ・ 「あいばす」を選んだ理由は定時性や予約不要が多く、「あいばす」の定時定路線の利点が選択理由となっている。

2. 令和6年度アンケート調査結果のクロス集計

(3) あいばす利用者の回答

②アンケート調査結果の分析（運賃）

「交通不便地⇔まちなか」 「交通不便地間」希望運賃			(参考) 全体	
	回答数	割合	回答数	割合
200円未満	22	34.4%	34	33.3%
200円以上～300円未満	29	45.3%	51	50.0%
300円以上～400円未満	8	12.5%	11	10.8%
400円以上～500円未満	4	6.3%	5	4.9%
それ以上	1	1.6%	1	1.0%
合計	64		102	

「まちなか⇔まちなか」 希望運賃			(参考) 全体	
	回答数	割合	回答数	割合
200円未満	10	15.6%	14	13.2%
200円以上～300円未満	22	34.4%	46	43.4%
300円以上～400円未満	12	18.8%	21	19.8%
400円以上～500円未満	14	21.9%	18	17.0%
500円以上～600円未満	6	9.4%	7	6.6%
それ以上	0	0.0%	0	0.0%
合計	64		106	

- ・ あいばす利用者に限定した際の回答と全体の傾向に大きな差はない。
- ・ 公共交通不便地方面のチョイソコの運賃希望は、今回の実証実験の運賃額（200円）が最多。
- ・ 一方、「まちなか⇔まちなか」間の運賃額（500円）は、希望との差があることがわかる。
これは、タクシー料金よりも「公共交通不便地方面」のチョイソコの運賃額（200円）を意識していると考えられる。
500円未満の希望が回答の9割以上となっているが、公共交通不便地方面の運賃より高くなることについて、一定の理解はあると考えられる。

3. 総括

○利用実績

- ・6年度、有料化の影響もあり延べ利用者数は減少した。
- ・6年度利用者は53人（前年51人）、内訳は5年度と6両年利用者21人、5年度登録・6年度のみ利用者は15人、また6年度新規登録・利用者が16人と利用者の属性は多様。
- ・5年度より高齢者（60歳代・70歳代）の比率が減り、10歳代及び80歳代以上が増えた。
- ・利用目的としては、買い物や通院、通勤・通学など日常生活の移動手段として幅広い年齢層の利用があった。

○利用区間

- ・会員登録者の利用区間としては、総利用回数325回のうち、「不便地⇔まちなか」間が279回（86%）、「不便地⇔不便地」間が20回（6%）、「まちなか⇔まちなか」間が26回（8%）。
- ・6年度より利用可能となった「まちなか⇔まちなか」間の利用26回のうち、21回は6年度新規会員登録者であり、利用区間の拡充により新たな登録者・利用者が増えたことがわかる。

○運賃

- ・あいばす利用者における「チョイソコかごしま」の運賃の希望は、公共交通不便地方面（大人200円）は、200円以上でも利用したいとの回答が6割以上ある一方、まちなか停留所間（大人500円）は、500円未満を希望する回答が9割以上であり、今回の運賃との差があった。

○まとめ

- ・有料化による影響もあり、総利用回数は減少したものの、5年度利用者の4割の方が6年度も引き続き利用したほか、利用区間の拡充による会員登録者の増など、デマンド型の需要が一定あることがわかった。
- ・運賃額についてのアンケート調査において、公共交通不便地方面は今回の金額の希望が多かった。まちなか停留所間は、今回の金額未満を希望する回答が多かったものの、公共交通不便地方面より高くなることへの理解は一定あると考えられる。
- ・運賃や移動区間の設定にあたっては、既存の公共交通への影響や受益者負担などを踏まえ検討する必要がある。